

Vol.21
(05.1・2・3月号)

茨木市生涯学習だより

まなびどり



油彩画「希望」
「生涯学習センター きらめき」
特集号に寄せて

学ぶ喜びを まちの誇りや豊かさに

特集

- 生涯学習センター きらめきがオープンしました！
- 消防本部・消防署を訪ねて
- 昔のあそび
- 春に芽吹く野草
- 茨木の西国街道を歩く
- 市民インタビュー
- グループ紹介
- エッセイ わたしの時間
- 市民カレンダー

きらめき がオープンしました！

「生涯学習センター きらめき」が12月1日にオープンしました。このセンターは市民の多様な学習ニーズに応え、学習活動を支援するための拠点となる施設です。

「きらめき」の名称は市民から募集して決められました。さっそく紹介しましょう。



「生涯学習センター きらめき」の外観

生涯学習の拠点施設

茨木市は、平成10年（1998年）に生涯学習都市宣言をし、「学ぶ喜びを まちの誇りや豊かさに」を推進目標として、生涯学習のまちづくりを進めてきました。

その中で、市民の多様な学習ニーズに応え、誰もが参加することができ、自主的な活動をより支援することができるように、生涯学習センターを建設することになりました。この施設は、今までの生涯学習センターの機能と中央公民館の機能とを併せ持ち、その機能をさらに充実させた施設となっています。

交通手段など

バスの利用は、行きの便、帰りの便ともに増便されています。時間帯も、夜は以前より遅い時間まで拡大されました。（詳しくは、時刻表をご覧ください）

駐車場は、116台が駐車でき、中央図書館との共用となっています。（3時間100円 延長は1時間ごとに100円増し）駐輪場は、300台が駐輪できるようになっています。



生涯学習センター きらめき
〒567-0028 茨木市畑田町1番43号
◆ JR茨木駅から徒歩20分、阪急バスで「中河原南口」または「追手門学院前」行き、約10分「中央図書館前」下車

施設の特長

★緑化

施設の入り口付近などには、樹木が植えられています。2階と3階にも庭園があり、安らぎの空間となっています。また、屋上緑化も行っています。この緑化によって建物の温度が約2度くらい下がり、ヒートアイランド現象の予防にもなっています。

★夜間氷蓄熱空調・ソーラーシステムなど

夜間電力で蓄熱槽に蓄えられた氷や温水を、昼間の冷暖房に役立てる空調システムは、ピーク時の消費電力を約20%削減でき、冷暖房費がかなり安くなります。ソーラー発電は最大出力が20kwくらいで、3教室ほどの電力使用分をまかなっています。また雨水は、トイレの排水に利用されています。



館内の庭園



オストメイト対応のトイレ

★バリアフリーなど

床面はフラットになっていて、車いすで移動しやすいようになっています。和室の入り口も段差がありません。階段やエレベーターには、手すりも付けられています。

各階には、車いすで利用できる多目的トイレがあり、男子トイレにもベビーベッドが備えられています。

1・2階には、オストメイト（人口肛門、人工膀胱の方）対応のトイレが設置されています。

オープニングイベント

12月1～5日の5日間、施設が開放され、市民が自由に見学しました。真新しい館内を見て、多くの市民から「きれい」の声が上がっていました。

12月4日には、こけら落とし公演として、オペラ「魔笛」が上演され、その歌声に観客はしばし酔いしれました。5日には、NHKテレビ公開録画番組「あなたとエアロビック」が集録され、参加した市民は、指導者の動きに合わせて楽しく汗をかいていました。

また4・5日には、このほかさまざまな催しがありました。IT学習室でのIT講座やエルネット講座への参加、食工房での料理作り、多目的スタジオでのダンス、和室でのお茶会などがありました。

交流コーナーではミニコンサートが行われ、ホールいっ

ぱいに広がるマンドリンやハーブの音色に、多くの市民が足をとめて演奏に聴き入っていました。



館内風景

きらめき はあらゆる年代層が利用できる施設です。

1 階

- ◆ エントランスホール、交流コーナー、展示コーナー、情報コーナー、喫茶コーナー
- ◆ 陶芸室（準備室を含む）、いばらき窯、工芸室、工芸準備室、アトリエ
- ◆ 和室、キッズルーム

エントランスホールでは、モニター画面による行事案内板を設置しています。交流コーナーは、ミニコンサートもできるように、スピーカー、マイクなどの電源を設置しています。

陶芸室では、電動ろくろや工作台、窯2基を設置。工芸室では、作業台、ガスバーナーを備え、木工・金工のほかガラス細工もできるようになっています。アトリエは絵画のほかに織物ができるように、織機を備えています。



交流コーナー

2 階

- ◆ きらめきホール、控室（3室）
- ◆ 多目的スタジオ、録音スタジオ（音楽編集室を含む）、音楽スタジオ
- ◆ 食工房

きらめきホールは、ピアノ、16ミリ映写機、プロジェクターを使って音楽会や映画会を催すことができます。また、いすを収納することができるので、社交ダンスやファッションショー、展示会などにも使うことができます。

多目的スタジオは、エアロビクスやジャズダンス、バレエなどができます。また有線のカラオケセット、小グランドピアノが置いてあります。録音スタジオは完全防音になっており、音楽用編集機器が備えています。音楽スタジオも完全防音になっています。ドラムセット、ギター、シンセサイザー、アンプが設置されています。

食工房では、部屋の周囲に調理台や調理ヒーターを備え、中央に食事用テーブル、いすを配置しています。



きらめきホール



食工房

3 階

- ◆ 研修室、会議室
- ◆ 親子室
- ◆ 連絡コーナー、プリント室

各研修室には、手動式スクリーンやAVワゴンが設置されていて、映像を使った研修ができます。また、衛星放送を使ったエルネット研修ができる研修室もあります。

親子室は、小さいお子さんをお持ちの方が、きらめきホールでの催しを見ることができるようになっています。

連絡コーナーでは、各登録団体の連絡箱約210箱を設置しています。



研修室304

4 階

- ◆ 学習室、IT学習室
- ◆ 自学コーナー
- ◆ 講師室

学習室には、手動式スクリーンとプロジェクター、AVワゴンを設置しています。ビデオやパソコン映像の映写が可能です。

IT学習室は、デスクトップ型パソコン30台を設置しています。

自学コーナーは、講座受講生が受講証を提示すれば、予約なしで使用ができます。



IT学習室



受付・案内窓口（1階）

開館から約1カ月経ち、すでに多くの市民がこの施設を訪れています。養成講座を終了した約220人の市民アシスタントも頑張っています。

ガラス張りの窓から暖かい日を浴び、また夜になると建物の正面の壁面ガラスが光を反射し、「生涯学習センター きらめき」は、今まさに市民の期待を担ってきらきらと輝いています。

子どもから大人まで男女を問わず、学び、語らい、趣味を楽しむ場として、このすばらしい施設を大いに活用しましょう。皆さんも是非一度見学しませんか。

担当：上村 金原 崎間 西村

消防本部・消防署を訪ねて

消防本部と消防署（本署・7分署）は、約26万人の市民の生命・財産を守るために、市内全域を24時間体制で監視し、迅速に出動できるように常時待機しています。また地元の消防団とも連携し活動しています。

今回は、消防本部・消防署が日頃どのような活動をしているのかを特集します。

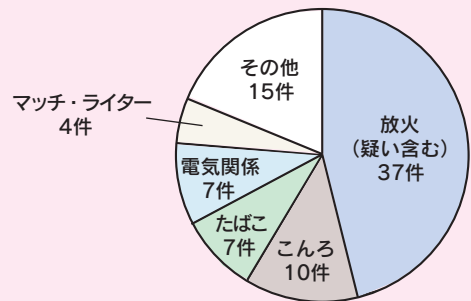


最小限の被害で救助と消火を

茨木市の火災発生件数は、昭和63年（1988年）の146件を最多に徐々に減り、平成15年（2003年）には80件となっています。出火率（1万人当たりの出火件数）3.0は、全国平均・大阪府下平均をともに下回っています。原因別では放火（疑いを含む）がトップで、これは全国的に同じ傾向です。

消防本部3階の指令室では、119番通報を受けると、火災などの発生場所や内容に応じて、消防車両の編成をコンピュータが選択し、消防車が直ちに現場へ出動します。消防車は、タンク車、ポンプ車、はしご車、化学車など、計50台を保有しています。また消防団には、小型動力ポンプ付積載車や軽積載車などがあり、発生場所、内容に応じて出動します。

消防本部（署）では、「人命救助が最優先」として、被害を最小限に防げるように懸命に努力しています。



火災の原因別発生件数（平成15年）

防火の心得

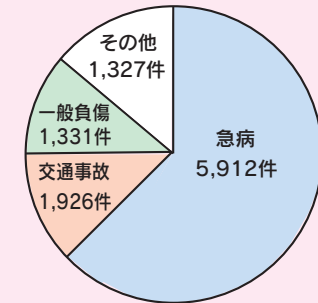
- ★家の周りに燃えやすい物を置かない。
- ★寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ★火を使っている時はその場を離れない。
- ★風の強い時は屋外で火を燃やさない。
- ★子どもにマッチやライターを使わせない。
- ★電気器具を正しく使用し、容量を超えたコンセントは使用しない。
- ★ストーブの近くに燃えやすい物を近づけない。

市民の大切な生命を守る救急救命

茨木市の救急車出動件数は、平成15年では10,496件、1日平均では29件になりますが、毎年500件近く増加してきて、救急活動の大変さがよく分かります。

本署と7分署のすべてに高規格救急車が配置されていて、市内全域のどこにでも5分以内で到着し、救急現場から病院へ直ちに搬送できるようにしています。病院に到着するまで、高度な救命処置が行えるように救急救命士が乗車し、適切な病院搬送をします。

また市民救命士制度を設けて、茨木市とボランティア活動の市民（市民救命士）が協働して救命率の向上を図っています。



救急出動種別件数（平成15年）

市民へのお願い

- ★救急車の適正な利用をする。
- ★迷惑駐車をしない。



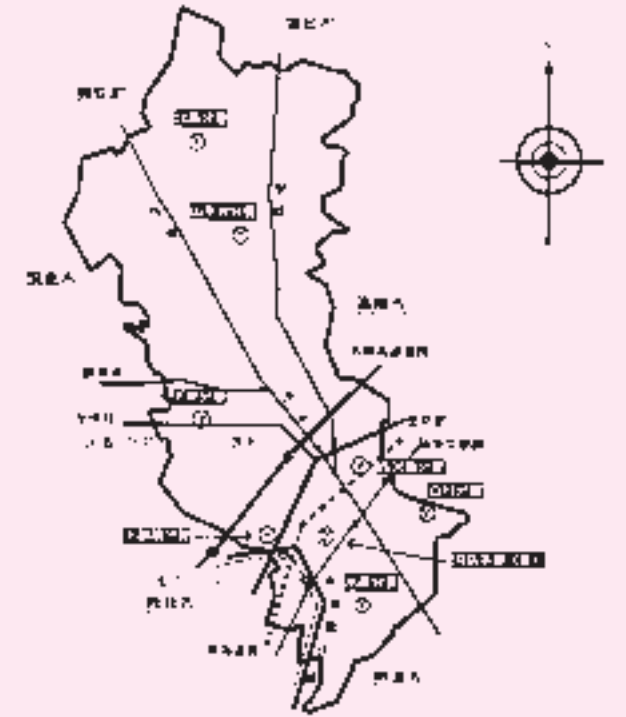
救急車

大規模自然災害に備えて

平成7年（1995年）1月17日に発生した阪神・淡路大震災から満10年になります。茨木市では、近い将来に起こるかもしれない大地震に備えて、万全な体制をとっています。消防庁舎の耐震補強工事や飲料水兼用耐震性貯水槽、救助用資機材などが設置されています。

震度5以上の強い地震が発生した時は、地震災害対策計画に基づき、30分以内に市内全域の定められた街区に行き、情報収集、消火活動を行い、その後の状況に応じて必要な場所に移動して消防活動を行います。

消防では、常に降雨や風速などの気象観測をしており、集中豪雨や洪水に備えて、河川の状況を把握したり、土砂崩れの恐れがある地域などを巡回します。また地域の自主防災組織とともに警戒を強化し、被害を少なくするようにしています。



消防本部（署）・分署の配置

自然災害に対する心得

- ★大型家具や電化製品などの転倒や移動を防止するための措置をする。塀などは倒壊防止の補強をし、テレビのアンテナなども飛ばされないようにしておく。
- ★雨といや自宅周辺の排水溝を清掃しておく。
- ★常に直近の情報を把握しておく。
- ★指定避難場所を確認し、家族全員が周知しておく。
- ★非常用の持出品を準備し保管しておく。
- ★「グラッ」ときたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に入り、身の安全を確保する。



出初式

1年間の主な行事

- 消防出初式（1月）
- 震災訓練（1月）
- 文化財防火デー（1月）
- 春季全国火災予防運動（3月）
- 近畿地区救助大会（7月）
- 総合防災訓練（8月）
- 市民と消防フェスティバル（10月）
- 秋季全国火災予防運動（11月）
- 歳末消防特別警戒（12月）

- 普通救命講習会（毎月第3日曜日）
- 上級救命講習会（2・6・8・11月）



消防本部の指令室

担当：阿曾 野間

昔のあそび

昔懐かしい遊びが、今見直されています。身近な材料を使っておもちゃを手作りし、それで遊ぶ。子どもたちがアイデアを発展させ、工夫を凝らして遊ぶ。忙しい現代社会で、忘れられつつある“心を育てる遊び”を紹介します。



◎ぶんぶんごま

昔は大きいボタンなどを利用した。これは厚紙を使っている。厚紙を2枚合わせて円形にし、周りに切り込みを入れ糸を通す。糸によりをかけて引っ張ると、ぶんぶん音を鳴らして回る。



◎でんでん太鼓

心地よい音が出る昔の代表的なおもちゃ。これはセロテープのしんに障子紙を張り、タコ糸にビーズを付けてパチにしている。回すとぼこぼこと軽快な音が出る。



◎竹トンボ

乾燥した竹で、羽根と棒を作る。ナイフを使って竹を削る場合は、子どもには注意が必要。牛乳パックとはしを使ってできる。



◎鳴きセミ

棒を持って振り回すとセミが鳴くような音が出る。これは和紙、竹筒、ビーズなどを利用し、音を出すために、松やニを使っている。



◎くねくねヘビ

昔は竹を使っていた。これはトイレットペーパーのしんをつないで作っている。くねくねとヘビのように動かすことができる。



協力してくださった皆さんです。手作りの伝承玩具で世代間交流を図ろうと、いろいろな場所に出向き活動されています。



◎あやとり

1本のひもからいろいろな形を作る遊び。一人でも、二人で交互に取り合う「二人遊び」もできる。



◎お手玉

歌いながら投げ上げたり、受け取ったり捨てたりする遊び。端切れなどで作り、中にアズキなどを入れる。



◎ビー玉・おはじき

置いたビー玉に、それぞれのビー玉を当ててはじき出し、ビー玉を奪い合って遊ぶ。おはじきは指先をじょうずに使ってはじく遊び。おはじき同士をぶついたら両方もらえる。



◎こま

ドングリに棒を刺して回す素朴なものもある。木で作られたものは、カラフルなものが多い。

紹介した遊び方は一例です。おもちゃを作ったり遊んだりするときは、けがのないよう十分に注意しましょう。また周りにも気を配って遊びましょう。

担当：上村 西村

春に芽吹く野草

川辺や雑木林、野や山には、春が近づくと野草が顔を出し始めます。その中には、食用にできる野草も数多く見られます。そこで春先に若葉や芽を出す野草のいくつかを紹介し、皆さんも春を感じてみませんか。



●ノビル

ネギの仲間で、田畑のあぜや庭先にも生える。ニラやニンニクと並ぶ栄養価がある。湯通しすると臭みが抜け粘りが出る。葉はあえ物に、根は酢漬けによい。



●フキ

湿った場所に多い。フキノトウは、あえ物などに。フキ味噌は少々花が開いていても使える。茎はゆがいてつくだ煮やあえ物など調理法は多い。



●ヨモギ

いたる所で見かけることができ、新芽をゆがいて草もちにしたり、あえ物やひたし、ヨモギご飯もおいしい。油いため、揚げ物などにもよい。



●レンゲソウ

休耕田や田のあぜなどを真っ赤に染める春の代表的な花。くせがないので、ひたし、あえ物、酢の物などに。花はお茶やジャムにもよい。



●スミレ

庭先や山野、土手、畑のあぜなどに生える。葉やつぼみはゆがいてひたしに。花はサラダや酢の物、てんぷらによい。

野草採取の注意点

- ・野草は、年齢や食べる量、アレルギーがある人、内臓疾患がある人、体調などによって、食用に向かない場合があるので注意すること。
- ・よく似た毒草があるので、判別しにくいものは採取しないこと。
- ・毒ヘビにかまれたり虫にさされたり、また植物などでかぶれたりしないような服装や足支度をする。
- ・自然保護に留意して、最小限の採取にすること。
- ・採取したらできるだけ早く料理すること。あく抜きなどの下ごしらえは野草によって違うので、その野草にあった方法で調理すること。



●タンポポ

おなじみの野草で、和タンポポより今は西洋タンポポが目立つ。葉や花はてんぷらやあえ物、ひたしによい。



●ドクダミ

薬草としてよく知られ、山野の日陰を好む。特有の臭いを放つが、てんぷらにすると臭みが抜けて意外においしい。



●ツクシ(スギナ)

どこにでも見られる野草で、はかまは取る。胞子は苦いので好みの量に取り除き、煮物、ひたし、卵とじなどによい。

ほかにもオオバコ、セリ、ワラビ、イタドリなどが見られます。

担当：阿曾 東實 絵：金原

歩歩歩会



「さんぽかい」と読みます。由来は山々をゆっくり楽しみながら歩く「散歩」から命名されました。当時の社会教育課（現地域教育振興課）に土曜サロンという講座があり、修了時の懇親会で受講生が集まり、五つの同好会が生まれました。「歩歩歩会」はその一つです。

振り返れば、平成10年（1998年）4月に箕面・勝尾寺口の大鳥居から外院尾根を歩き、桜の咲き乱れる勝尾寺園地で初会合をしたのが始まりです。発足時は男性13人の集まりでしたが、現在は男女がほぼ同数で、合わせて約40人に成長しました。

歩く山は、茨木市の武士自然歩道や摂津峡などの近場から、六甲山系、京都北山・東山、金剛山系など多少硬軟を取り混ぜています。例会は月に1回で、日帰りできる山や溪谷を歩き続けています。難しく言えば、自然に親しみ、心身の健康と相互の親睦を図ることを目的に発足したもので、夫婦で参加する方もいて、和やかに活動しています。

行き先などは会員の希望で決めています。毎月の参加者はだいたい20人前後になり、ちょうどまとまりやすい人数になります。

年齢は50歳代、60歳代がほとんどですが、最近ホームページも設置し、不参加の会員もスナップ写真で行った気分にもなり、写真と時間をタイムリーに紹介しますので、ほかのグループの資料にも一役買っていると思います。

これからも、全会員がいつまでも元気で例会に参加できればと思っています。

連絡先 矢野 大輔 627-6164
ホームページアドレス
<http://issyan.hp.infoseek.co.jp>

大阪ミントJ.C



「大阪ミントJ.C（ジョギング・サークル）」は、ジョギング・マラソンを愛する人たちの集まりです。毎週日曜日、午前8時から中央公園をスタートし、桜通り、川端通りを往復する約11kmのランニングをしています。

サークルのメンバーは総勢57人。年齢も20歳代から60歳代まで幅広く、初心者から大ベテランまで、女性も数多い楽しいサークルです。

メンバーは、3km、5kmの比較的短い距離からフルマラソン（42.195km）や100km以上のウルトラマラソンまで、各地の大会・レースに参加しています。またホノルルマラソンや北京マラソンなど海外の大会に行く人もあります。

走った後の懇親会を楽しみに練習に励む人も多く、大会終了後の打ち上げは恒例行事となっています。また春の花見、夏の合宿、山登り、バーベキュー、テニス大会など季節ごとのイベントもあり、マラソン以外の楽しみもいっぱいあります。

設立は平成4年（1992年）。ランニング好きの2、3人が桜通りを走る朝の練習を始めたのがきっかけとなり結成されました。「ミント」の名前は、当時メンバーがよく集まった喫茶店の名前に由来しています。

手軽にダイエットを始めたい方、気持ちのいい汗をかきたい方、「ミント」の朝の練習に一度参加してみませんか。また視覚障害がある方で一緒に走ってみたい方は、伴走などのサポートをしますので、ぜひお越しください。

連絡先 石井 美信 622-3552
ホームページアドレス
<http://homepage2.nifty.com/mintjc/index3.html>
メールアドレス
mintjc@mbh.nifty.com

市民インタビュー



第21回

茨木市民の中からいきいき生活の達人を探し出し、紹介するコーナーです。話から見てくるその豊かな人生に、きっとあなたも勇気づけられることでしょう。

石に魚の絵を描く博物画家
こむら かずや
小村 一也さん

琵琶湖・淀川水系にすむ淡水魚の姿を石に描き続ける小村一也さん。自然の石をキャンパスに、水面下の魚の情景を原寸大にリアルに表現する。小村さんに『石に棲む魚』の世界を語っていただきました。

石に魚の絵を描くようになったきっかけは何ですか。

長女は1歳半で心臓の手術を受けてから、見違えるように元気になり、外で遊ぶのが好きな子になりました。ある日河川敷を歩いていると、長女が石を拾ってきて、「石に魚を描いて」と言いました。この一言が私の転機となり、それから本格的に『石に棲む魚』の創作活動に入りました。やっとやりたいことに出会えたという思いでした。

どのような方法で描くのですか。

石は基本的には汚れを拭き取るだけでそのまま使います。上流にすむ魚は上流の石に、下流にすむ魚は下流の石に描きます。親しい石屋さんに探してもらった石を切って使うこともあります。絵の具はアクリル絵の具を使い、重ね塗りをします。細かい所を描く筆はネールアート用を使います。下絵なしで描くのですが、描き慣れた魚だと45分から半日で描きます。大事なことは正確に描くということです。ウロコの数や形などもうそのないようにしています。石に描く魚の大きさも原寸大です。しかし正確さだけでなく、生き生きとした動きを出すように工夫して描いています。そのために、目には少し「表情」を入れています。

琵琶湖・淀川水系の淡水魚を題材にしているのはなぜですか。

身近にある自然を、少しでも知ってもらいたいという気持ちです。子どもの時から茨木に住んでいて、安威川や茨木川は私にとってはなじみ深い場所でした。川と水辺と魚は子どもの頃からの親しい仲間です。安威川上流には希少種も生息しており、また琵琶湖やほかの淀川水系の川にも固有種がいます。それらの魚を絵にして残しておきたいと思ったのです。

河川環境についてどう思いますか。

人と自然との折り合いは難しい問題です。世の中の流れの中で、どうしようもない現実があります。しかし近くの

川を見ていると、行政もよく頑張っているなど感じています。訪れる人たちのマナーもよくなっているようです。環境は油断するとすぐに悪化します。生き物の生態をよく知って、人との共生ができる環境が作れるといいですね。

絵から何を伝えたいですか。

表情がある生き生きとした絵を描き、子どもが自然に興味を持ち、そこから親子のコミュニケーションが生まれたらいいなと思っています。私は身近なもの、見過ごされているものを描きたいと常々思っています。そうすると必然的に自分の住んでいる街に目を向けることになります。この絵から自分たちの身近な自然を感じ取ってもらえればうれしいです。

今後の目標は何ですか。また小村さんにとって「生涯学習」とは何ですか。

生きている間に、目の前にある自然をできるだけ多く描き、それらを次世代に残すことができたらと願っています。私の一生をかけて、ありとあらゆる自然から多くのことを学ぶ。それが私の「生涯学習」です。



担当：崎間 宮原

わたしの時間 第15回

「毎日仕事に追われて忙しく、旅行に行く余裕もない」「音楽を聴く時間もない」と人は言う。現役の間は仕事に励み、家庭を大切にすることは当たり前である。しかし、自分の時間が全く作れないはずはないと思う。目標を定めてプランを立てれば仕事の効率もよく、結構自分の時間が作られて規則正しい日々が送れるように思う。

私は五十年以上もアメリカ南部のアラバマ州アンソニー地方の伝承音楽である「ブルーグラス・ミュージック」を愛し続けてきたが、忙しい時ほど家に帰ってからそれを聴くようにしてきた。パンジョーやギターやマンドリンが刻む心地よいリズムと一味違った哀愁漂うアイリッシュ音楽のフィドル（ヴァイオリン）の音色が、疲れた私を癒してくれた。

仕事と趣味のバランスを取ってうまく時間の使い方ができるのは、人生においてとても大事なことと思う。「趣味」と「道楽」を混同する人もいるが、無意味な「道楽」と「趣味」は全く異なる。人間関係を豊かにして新たな文化を創造する「趣味」は、生涯学習の原点と言える。私は今それを実感しながら「（人との）輪」（交流の）話」「（心の）和」を噛みしめて日々を過ごしている。

東實 文男

茨木の西国街道を歩く

古墳や史跡にふれながらの歴史街道ウォーク

茨木市内をほぼ東西に走る西国街道は、高田町九番から西へ進み、郡山宿本陣（櫓の本陣）の前を通過して、西豊川町から箕面市小野原へと通じています。

まなびどり編集ボランティアは、茨木市内を通過している約5.5kmの西国街道を寄り道をしながら歩き、古墳や史跡などを訪ねました。

西国街道

古代から京都と西国を結ぶ重要な道で、江戸時代には西国と東海道を結ぶ脇街道であったが、本街道である大阪回りよりも距離が短いので、西国諸国の多くの大名が参勤交代路として、江戸との往来に利用した。

このうち山崎から西宮までを「山崎通」と称し、その間に、芥川・郡山・瀬川・^{こや}毘陽の宿場があった。

太田茶臼山古墳（継体天皇陵） ～高田町～雲見坂～太田神社

近鉄バス太田バス停から東へ歩きだしてすぐ左側に、こんもりと茂った森の墳丘が見える。これが太田茶臼山古墳（継体天皇陵）である。この古墳は五世紀頃の築造とされ、遙拝所の石碑には「^{けいたい}継体天皇三島藍野陵」と旧字体で書いてあり、継体天皇の御陵とされているが、疑義があるようだ。

この街道のスタート地点である高田町まで行き、Uターンして西へ進む。東太田四丁目の交差点を横断して、^{おおだはいし}太田廃寺跡を訪ねた。寺の礎石跡はなく、案内板があるだけだった。

坂をだらだらと下る途中に雲見坂と呼ばれる所がある。この近くにあった太田城の城主である^{おおだたろうよりもと}太田太郎頼基が雲の動きを見て、天気や戦のやり方を判断したと言われている。かつては大阪平野を一望できたらしい。三差路に「左 京ふしみ道 右 ごん田 三しま江」と読める道標があった。この坂の上に大きな石があって、紫式部がこの石に腰をかけて、西の方を眺めたという言い伝えがある。

雲見坂を後に太田神社へ向かった。スギ木立の参道を抜けると、正面に拝殿、本殿があり、^{はやすきのおのみこと}速素戔嗚尊など三神が祭られている。

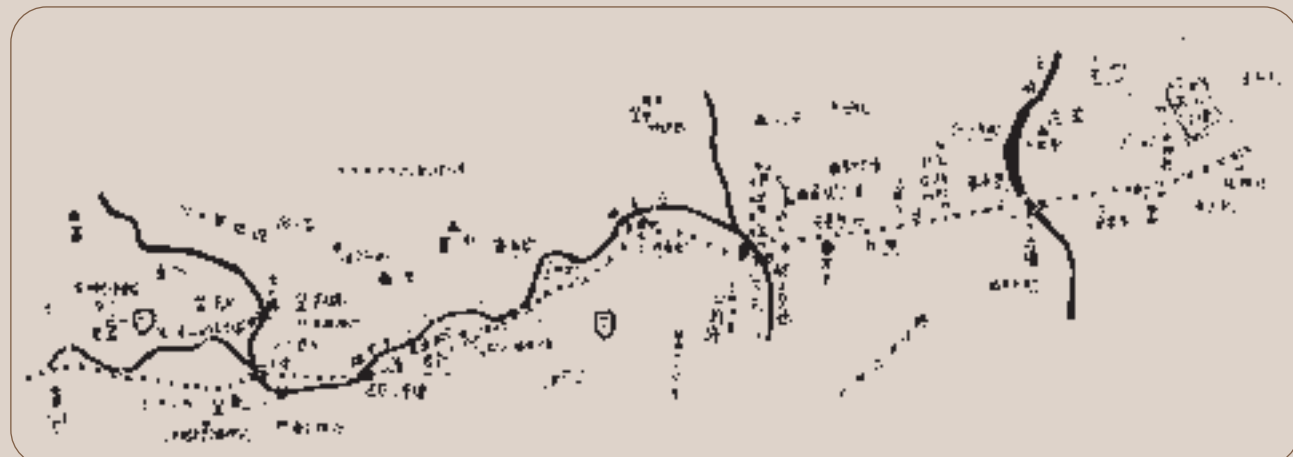


●交通手段

阪急茨木市駅9：10 発の花園東和苑行き近鉄バスに乗車して、9：25に太田バス停に到着。帰りは国道171号の阪急バス豊川バス停からJR茨木駅へ。



雲見坂にある古い道標



太田神社～太田橋～白井河原合戦跡～中河原の道標



白井河原合戦跡付近

耳原公園のすぐ近くに耳原方形墳（^{はなすり}鼻摺古墳）がある。この古墳は東西南北の四方に濠をもつ方形の古墳で、六世紀から七世紀にかけて築造されたと考えられ、仁徳、^{りちゅう}履中、^{ほんせい}反正の三代天皇陵と伝えられるが、明確ではない。

小休止の後、しばらく歩くと街道に戻り、茨木川の幣久良橋に着く。このあたりが白井河原合戦跡で、元龜2年（1571年）、茨木重朝・和田惟政軍と荒木村重・中川清

太田一、二丁目に入ると右側に、エノキが植えられた小さな公園がある。ここが昔、豊臣秀吉が街道の距離を分かりやすくするために作らせたのが始まりとされる一里塚があった所という説もあるが定かではない。現在、古木の根元だけが残っていて、保存樹に指定されている。安威川の太田橋を渡り、名神高速道路をくぐって十日市町へ入る。耳原との境界に大きな道標がある。耳原の茨木亀岡線を越えて阿為神社御旅所の鳥居前を通る。

^{てくらやま}幣久良山の森を眺めながら西へ歩く。巨石古墳で知られている耳原古墳へ向かったが、入り口が分からず今回は残念ながら入ることを断念した。

秀軍との合戦があったといわれている。「白井河原は名のみにして、唐紅の流れとなる」と、戦いの激しさが案内板に書いてあった。中河原町に入った亀岡街道との交差点には、東西南北各方面への距離を示す道標があり、ここは古代から人、物、文化の行き交う交通の要衝であった。茨木城主の中川清秀が生まれたともいわれる由緒地でもある。

中河原の道標～郡山宿本陣～ 春日神社～ぼろ塚～西豊川町



郡山宿本陣（櫓の本陣）

下井町を抜け、国道171号を横断して宿川原町の石畳の道に入る。ここには茨木街道への分岐を示す道標がある。このあたりが郡山宿で、国の史跡に指定されている郡山宿本陣（櫓の本陣）が往時の宿場の名残をとどめている。宿帳には、忠臣蔵で有名な赤穂城主・浅野内匠頭が宿泊した記録が残されている。

勝尾寺川の鍛冶屋橋を渡って豊川町に入ると、左側に春日神社がある。鳥居をくぐり長い参道を上ると、森閑とした境内に本殿があり参拝する。

山下橋の手前の道標を右折していくと、上流にはぼろ塚がある。ここは『徒然草』に、ぼろ（虚無僧）が師の仇討ちでこの宿川原で敵のぼろと出合って立ち合い、差し違えて二人とも死んだと記述されている。

再び街道に戻り、勝尾寺川の山下橋を渡って豊川二、四丁目を抜け、モノレール工事中の府道を越えると、茨木市の西国街道のゴールである西豊川町に着く。その距離約5.5km、4時間ほどの歴史散歩であった。



豊川 春日神社

西国街道沿いには、数多くの社寺や史跡などが点在していて、往時の歴史を楽しめるのがうれしい。ただ道幅が狭く、車の通行が多いので、十分注意が必要です。

担当：阿曾 金原 西村 野間 宮原 絵：金原



1月 市民

カレンダー

2月

茨木市立ギャラリー企画展22 「イメージから表面へ」 中西 學 林 幸久 原田 要 彫刻展

今回は彫刻家三人によるグループ展を開催いたします。

出展していただくのは、樹脂やアルミなどを使い、その表面をペインティングしたり独自のイメージで立体を創る中西學さん、木を彫刻し、その表面の凸凹を手がかりに絵画を描く原田要さん、鉄を切り開き、その断面を表面にして見せる林幸久さんの三人で、従来の彫刻の範疇にとらわれることなく、それぞれの感性に忠実に作品を創作し、現代美術の旗手として精力的に活躍されている方々です。

イメージから表面への表現の違いをご覧いただき、三人の作品によって醸しだされる感性の世界をご堪能ください。

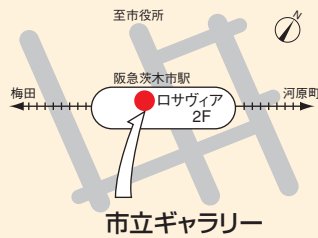
●3月17日(木)～29日(火)
10:00～19:00
(最終日は17:00まで)
23日(水)は休館

●茨木市立ギャラリー
茨木市永代町1-5
(阪急茨木市駅ロサヴィア2階)

●入場無料

問合せ先

地域教育振興課 620-1686



ギャラリーガイド

1/1 5 10 15 20 25 30 2/1 5 10 15 20 25 3/1 5 10 15 20 25 30

市立ギャラリー	1/6～11 岡村 満2005「Re Born」(抽象・平面) 1/13～18 現代美術-茨木・特集作家たちによる「ミニアチュール展9」(平面・立体) 1/20～25 岩本峯青墨象画展及び生徒展	1/27～2/1 三楽墨彩画会グループ展	2/17～22 梅花女子大学 児童文学科「絵本製作展」	3/10～15 片桐窯とその仲間達の作陶展	10:00～19:00 (火曜日は17:00まで) 休館日/水曜日 問合せ/各会期中はギャラリー 621-1850 地域教育振興課 620-1686
川端康成文学館ギャラリー	1/5～31 <企画展>川端康成ってどんな人?	2/2～28 <企画展>中島清遺作展-郷愁の風景-	3/2～14 第2学区高校美術工芸教員展	3/16～28 のこしたい西国街道写真展II -茨木から西宮まで-	9:00～17:00(最終日は12:00まで) 休館日/月曜午後・火曜日・祝日の翌日 問合せ/川端康成文学館 625-5978
クリエイター市民ギャラリー	1/4～18 フォトクラブ「ゆうゆう」第3回写真展 茨木市茶華道連盟生花小品花展 1/19～25 フェリス絵画教室作品展 1/26～2/8 遊画会油彩画展	2/9～22 遊画会油彩画展	2/23～3/8 森嶋輝雄写真展「大阪-北から南から」	3/9～22 二歩の会洋画グループ展 3/23～4/5 山本稔写真作品展「ヴェトナム紀行」	9:00～19:00 (各最終日は13:30まで) 問合せ/市民会館 623-3962
福祉文化会館市民ギャラリー	1/4～31 茨木美術協会新入会員作品展	2/1～28 中島清遺作展	3/1～28 清水敬作品展	3/29～ 山上憲一作品展	

日曜	場所	時間	内容	問合せ先
1 土				
2 日				
3 月				
4 火				
5 水	川端康成文学館	9:00～17:00	川端康成からの年賀状(～1/31 月曜午後・火曜休館 10日は17:00まで)	川端康成文学館 625-5978
6 木				
7 金				
8 土	クリエイターセンター	10:00～11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
9 日				
10 月	市民会館他	午前の部9:40～ 午後の部12:40～	茨木市成人祭 第1部:式典 第2部:同窓会コーナー	地域教育振興課 620-1686
11 火				
12 水	沢良宜青少年センター	10:00～12:00	子育て相談(2/10・3/10 予約制)	沢良宜青少年センター 632-6055
13 木	クリエイターセンター	10:00～11:30	クリエイター健康体操教室(～3/17 毎週木曜 1/6申込受付)	クリエイターセンター 624-1726
	消費生活センター	13:30～15:30	くらしの科学教室(毎週木曜)	消費生活係 624-0799
	中央図書館	10:00～12:00	読書会(本を楽しむ会“風”)	中央図書館 627-4129
14 金				
15 土				
16 日				
17 月	保健医療センター	10:00～12:00	生活習慣病予防教室(1/24と2日間 2回コース)	保健医療センター 625-6685
18 火				
19 水				
20 木				
21 金	シルバー人材センター	10:00～16:00	絵画・書・盆栽・手芸品・写真等の展示	シルバー人材センター 634-8990
	天王地区公民館	10:00～12:00	歌舞伎入門講座	天王地区公民館 625-7007
22 土	市民会館	10:00～18:00	太陽の里ともしび園・穂積作品展示会(～1/27 最終日は16:00まで)	ともしび園・穂積 623-7795
23 日	市民会館	14:00開演	茨木モーツァルト記念合唱団「新春コンサート」	文化振興財団 625-3055
24 月				
25 火				
26 水	ローズWAM	10:00～12:00 14:00～16:00	パソコンでちらしづくり講座(1/27と2日間)	ローズWAM 620-9920
27 木				
28 金	ローズWAM	9:00～12:00	自分ひとりでお楽しみ日(2/25・3/25)	ローズWAM 620-9920
	中央図書館	13:30～15:30	読書会(読書友の会)	中央図書館 627-4129
	天王地区公民館	10:00～13:00	子ども料理教室(バレンタインケーキ作り)	天王地区公民館 625-7007
29 土	南地区公民館	10:30～11:30	人形劇回京芸による「魔女のたまご」の上演	沢良宜青少年センター 632-6055
	ローズWAM	10:00～11:30	おとうさんといっしょにたのしく遊ぼう(3/26)	ローズWAM 620-9920
30 日				
31 月	ローズWAM	10:00～11:30	あそびの広場(2/28・3/28)	ローズWAM 620-9920

掲載している情報は紙面の都合上一部です。
詳しくは各施設へお問い合わせください。

各種催しについては、予告なくタイトル・開催時間などが変更になる場合があります。ご了承ください。

日曜	場所	時間	内容	問合せ先
1 火				
2 水	川端康成文学館	9:00～17:00	川端康成 墨書展(～2/28 月曜午後・火曜・祝日の翌日休館)	川端康成文学館 625-5978
3 木				
4 金				
5 土	上中条青少年センター	10:00～11:30	劇団如月舎による「のらねこハイジ」の上演	青少年課 622-5180
	ローズWAM	14:00～15:45	ローズWAMまつりプレイベント 吉永みち子さん講演	ローズWAM 620-9920
6 日	ローズWAM	10:00～20:30	ローズWAMまつり	ローズWAM 620-9920
	万博公園競技場 ～自然文化園	9:00～	市民駅伝大会	スポーツ振興課 626-3821
7 月	保健医療センター	10:00～11:30	これから始めよう運動教室(2/14・21・28 4回コース)	保健医療センター 625-6685
8 火				
9 水				
10 木	中央図書館	10:00～12:00	読書会(本を楽しむ会“風”)	中央図書館 627-4129
11 金				
12 土	クリエイターセンター	10:00～11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
	豊川中学校	14:00～16:00	オーケストラがやってくる!	豊川青少年センター 643-9633
13 日				
14 月				
15 火				
16 水				
17 木	ローズWAM	10:00～12:00	ローズWAM講座「女と男のあした」(2/24 3/3・10・17)	ローズWAM 620-9920
18 金				
19 土	天王地区公民館	10:00～12:00	歌舞伎入門講座	天王地区公民館 625-7007
	庄栄コミュニティセンター	10:30～11:30	「ねこじゃらし」による人形劇の上演	総持寺青少年センター 627-6793
20 日				
21 月				
22 火				
23 水				
24 木	天王地区公民館	9:30～17:00	非核平和/パベル展(～2/27)	人権同和課 620-1640
	ローズWAM	10:00～11:30	親子で楽しくあそぼう	ローズWAM 620-9920
25 金	中央図書館	13:30～15:30	読書会(読書友の会)	中央図書館 627-4129
26 土	天王地区公民館	9:30～12:00	子どもおもちゃ作り教室	天王地区公民館 625-7007
	総持寺のち・ま・ゆめセンター	10:30～11:30	親子リトミック教室	総持寺青少年センター 627-6793
27 日	クリエイターセンター	14:00開演	クリエイティブコンサート	文化振興財団 625-3055
28 月				

文化振興財団第54回公演 ファンカ・ステップ! ～ザ・ストライプスライブ



- 3月20日(日) 15:00開演
- 市民会館・大ホール
- 全席指定 2,500円
- ※65歳以上・18歳以下・障害者及びその介助者は500円引き。
- ※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
- 内容
北野武監督映画「座頭市」に出演したストリートダンス系のリズムタップパフォーマンスグループ「ザ・ストライプス」によるライブ。

チケット

文化振興財団 625-3055
J A茨木市各店舗 627-7762
(本所総務課)
ファミレコード 626-3723
(阪急茨木市駅前店)
朝日野村北摂販売(株) 643-8424
ローソンチケット 0570-06-3005
(Lコード:58911)
チケットぴあ 0570-02-9999

問合せ先

文化振興財団 625-3055
クリエイターセンター1階
月～金 8:45～17:15
土・日・祝日は休業

投稿募集

皆さんの投稿、情報をお待ちしています。

- サークル・グループ活動紹介
500字程度、写真1~2枚
- こんな人を紹介したい!
- こんな特集を扱ってほしい! など

次回、原稿締切は2月末です。
情報提供など(4~6月分)については、
はがき・封書でお願いします。
なお、応募多数などの場合は掲載できない
こともありますので、ご了承ください。
宛先/〒567-0028
茨木市畑田町1番43号
茨木市教育委員会市民学習課内
生涯学習情報紙編集ボランティア事務局
TEL 624-8182

編集後記

● 子どもの頃、草餅や正月の七草粥の
特有の味や香りが好きになれず、手間
暇掛けて作った母をがっかりさせた事
を、取材をしながら懐かしく思い出し
ました。(阿曾)

● 「きらめき」がオープンし、茨木市
の文化の発展と市民の教養の充実のため
に、大きく貢献できることを期待して
います。『まなびどり』もパワーア
ップをめざしましょう!(上村)

● 西国街道の取材途中、道端の古い道
標に、「右 茨木停車場」という案内に
出会い、六十余年前小学校当時、遠足
で見かけたことを思い出し、懐かしさ
が蘇ってきた一瞬を味わった一日で
した。(金原)

● 「きらめき」で開講される新しい講
座を楽しみにしています。今年こそ生
涯続けたいというものを見つけたい
ものです。(崎間)

● 市内の施設に置かれている『まなび
どり』。まだ知られていないのかPR
が足りないのか、余り数は減ってい
ない。この貴重な情報源が、もっと広
がることを私は願っています。(東貴)

● 西国街道を歩いてみました。町並み
は現代の建物で様変わりしていますが、
随所に旧跡、史跡、建造物や神社に歴
史の重みを感じられます。(西村)

● 消防本部指令室を取材見学。市役所
南館屋上に設置のカメラが全市域をカ
バーし、大きなスクリーンに詳細情報
が映し出されるのに、びっくりしまし
た。(野間)

● ちょっと耳新しい響き、「博物画家」
にインタビューの機会を持つことが
でき、彼は魚や生物などの自然界を描く
ナチュラリストでした。改めて、身近
な動植物に愛しさを感じさせられま
した。(宮原)

表紙
油彩画「希望」阿曾美智子

※掲載されている記事やイラストを
使用される場合は、ご一報ください。

3月

日曜	場 所	時 間	内 容	問 合 先	
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日	クリエイトセンター	14:00開演	茨木市少年少女合唱団第29回定期演奏会	地域教育振興課 620-1686
7	月				
8	火				
9	水				
10	木	ローズWAM	10:00~11:30	親子で楽しくあそぼう	ローズWAM 620-9920
		中央図書館	10:00~12:00	読書会(本を楽しむ会“風”)	中央図書館 627-4129
11	金				
12	土	クリエイトセンター	10:00~11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
		豊川のいのち・愛・ゆめセンター	10:00~21:00	やよいまつり(13日と2日間 13日は9:00~15:00 映画会、模擬店等)	豊川青少年センター 643-9633
		郡山宿本陣	9:30~16:30	郡山宿本陣特別公開(~3/27 入館は16:00まで 月・火曜は休館)	地域教育振興課 620-1686
13	日				
14	月				
15	火				
16	水				
17	木	市立ギャラリー	10:00~19:00	企画展22(~3/29 23日は休館 最終日は17:00まで)	地域教育振興課 620-1686
18	金	青少年野外活動センター	10:00~13:00	自然と親しむ講習会	青少年課 622-5180
19	土	クリエイトセンター	18:00開演	加藤かおり ソプラノリサイタル	文化振興財団 625-3055
		市民会館	15:00開演	ファンカ・ステップ!ザ・ストライプスライブ	文化振興財団 625-3055
20	日	青少年野外活動センター	9:00~15:00	市民森作りキャンプ	青少年課 622-5180
		青少年野外活動センター	9:00~15:00	野外料理に親しむ講習会	青少年課 622-5180
21	月	ローズWAM	10:00~14:00	おとうさんといっしょにお料理しよう!	ローズWAM 620-9920
22	火				
23	水				
24	木	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	14:30~15:30	人形劇団ココロによる「1人芝居」の上演	沢良宜青少年センター 632-6055
25	金	上中条青少年センター	10:00~12:00	春休みパソコン教室(28日と2日間 28日は10:00~12:00 13:00~15:00)	青少年課 622-5180
26	土	ローズWAM	未定	男女共同参画脚本上演	ローズWAM 620-9920
27	日				
28	月				
29	火				
30	水				
31	木				

4月

日曜	場 所	時 間	内 容	問 合 先	
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土	クリエイトセンター	10:00~11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木	中央図書館	10:00~12:00	読書会(本を楽しむ会“風”)	中央図書館 627-4129
15	金				

掲載している催しについての申込方法・期限、定員、入場料などは、各施設へお問い合わせください。